

一八三六番

風交じり 雪は降りつつ しかすがに 霞たな
びき 春さりにつけり

一八三七番

山のまに うぐひす鳴きて うちなびく 春と思
へど 雪降りしきぬ

一八三八番

峰の上に 降り置ける雪し 風のむた ここに散
るらし 春にはあれども